

令和7年5月7日

石川県 令和7年度学校体育担当者連絡会議

学習指導要領の趣旨を踏まえた 体育授業の在り方



スポーツ庁

スポーツ庁政策課
教科調査官 網島 毅

- 1 学習指導要領改訂に関する国の動向 等について
- 2 体育で育成を目指す資質・能力
- 3 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」
- 4 深い学びにつなげる授業づくり
- 5 「学びに向かう力、人間性等」の指導と評価

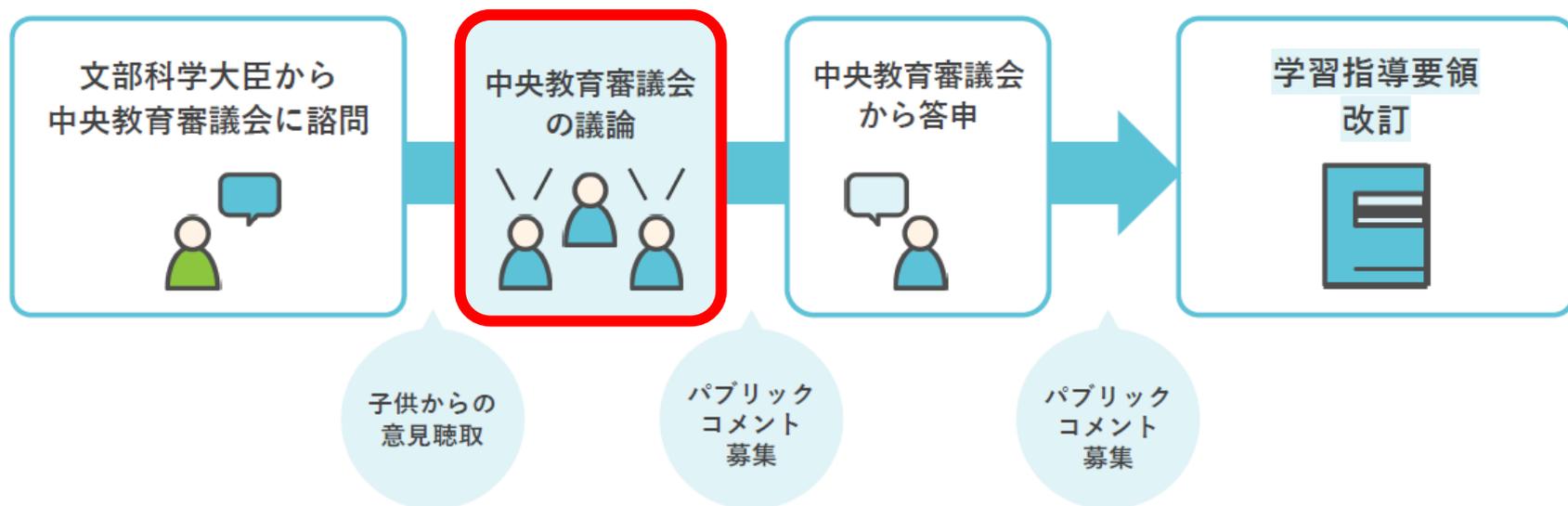
学習指導要領はどのようにして改訂されるのか

学習指導要領の改訂へ向けた議論が開始

令和6(2024)年12月25日の中央教育審議会諮問を受け、学習指導要領の改訂に向けた議論が始まりました。

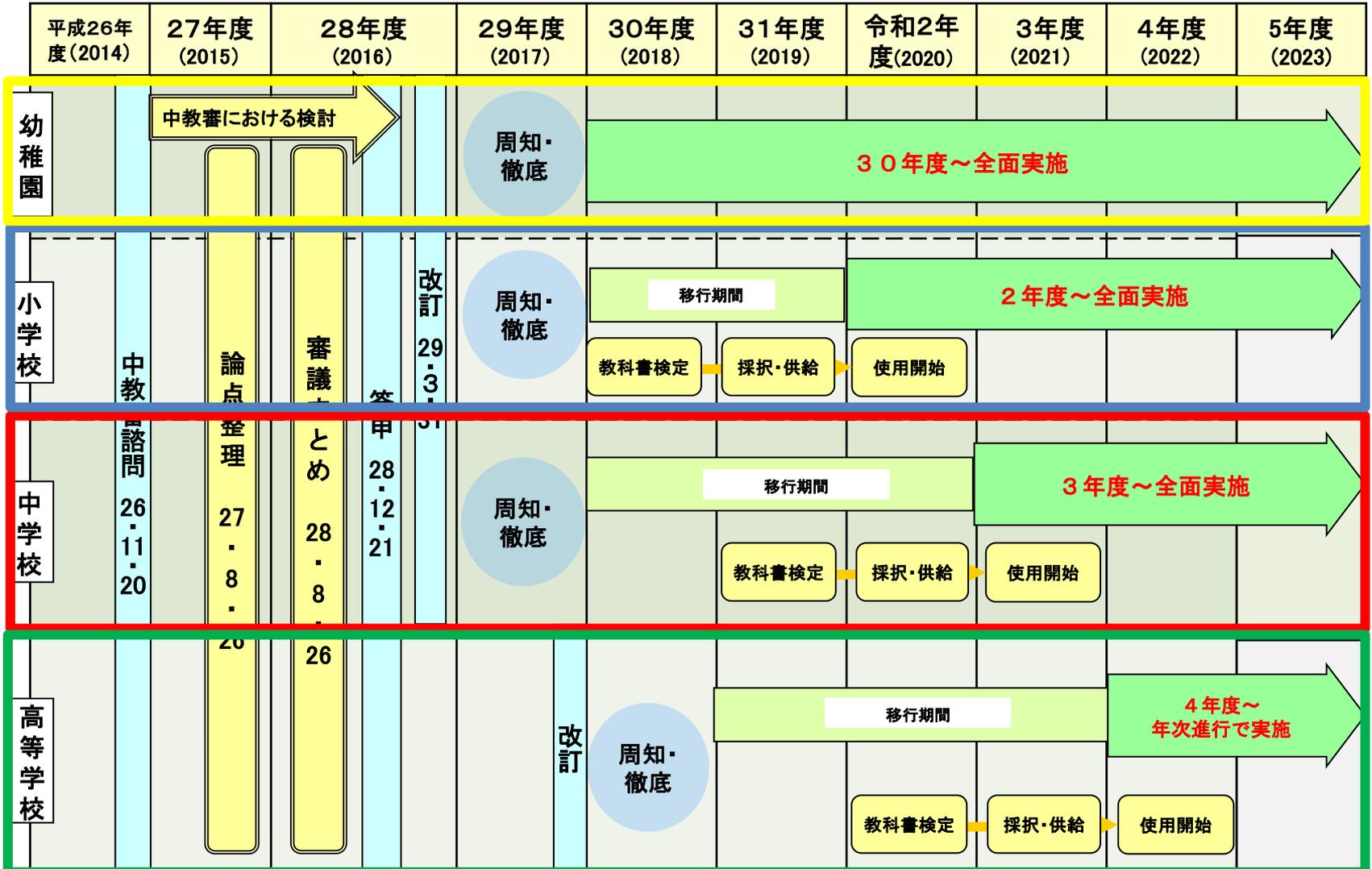
改訂は約10年ごとに実施され、中央教育審議会での有識者等による議論や、パブリックコメントで一般の方からの意見募集を経て行われます。

学習指導要領改訂の大まかな流れ



学習指導要領改訂に関する国の動向 等

現行の学習指導要領改訂に関するスケジュール



- ◆ 学習指導要領の改訂に向けた議論の「キックオフ」
- ◆ 中教審による「答申」は、令和8年度中を想定しており、現時点で改訂内容として確定していることはない
- ◆ しかし、「諮問」の内容は、文部科学省としての現状認識、問題意識、そして中教審に検討をお願いしたい具体の検討事項が示されており、非常に重要な位置付けを持つ（いわば今後の検討の「地図」であり「メニュー」）
- ◆ 中教審での議論の内容は分かりやすくお伝えしていきたいと考えており、「キックオフ」から議論をフォローしていただき、「先回り」して取り組んでいくことが重要
- ◆ 「原典」である「諮問文」の内容を是非ご覧いただきたい

https://www.mext.go.jp/content/20241225-mxt_soseisk01-000039447-01.pdf

※一部を抜粋

これからの学校には……（略）
一人一人の児童（生徒）が、
自分のよさや可能性を認識するとともに、
あらゆる他者を価値のある存在として尊重
し、多様な人々と協働しながら
様々な社会的変化を乗り越え、
豊かな人生を切り拓き、
持続可能な社会の創り手となることができ
るようにすることが求められる。

高度経済成長期には

「みんなと同じことができる」

「言われたことをできる」上質で均質な労働者の育成が必要

⇒正解（知識）の暗記の比重が大きくなり、**「自分で課題を見つけ、解決する力」**の育成のための学びが不十分

学校では**「みんなと同じことを、同じように」**を過度に要求する面が見られ、**「同調圧力」**を生み出したのではないか

⇒**いじめや生きづらさ**をもたらし、非合理的的精神論や努力主義、詰め込み教育等との間で負の循環が生じかねない

40人学級の多様性（中学校）

特異な才能のある子供

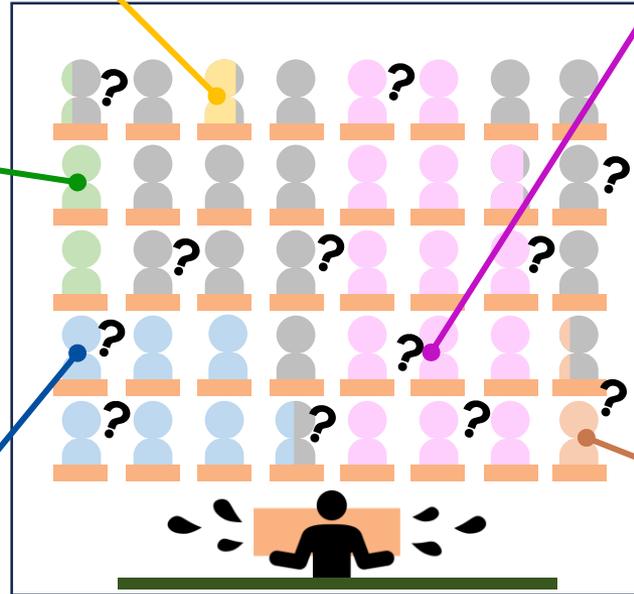
0.9人 ※1
(2.3%)

発達障害の可能性のある子供

2.2人 ※2
(5.6%)

不登校 ※3
2.4人
(6.0%)

不登校傾向 ※4
4.1人
(10.2%)



家にある本の冊数が少なく学力の低い傾向が見られる子供

15.7人 ※5
(39.2%)

日本語を家であまり話さない子供

1.3人 ※6
(3.2%)

【出典】内閣府 総合科学技術・イノベーション会議「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」をベースに更新

※1 日本には定義がないため、IQ130以上を仮定し、知能指数のベルカーブの正規分布を元に算出。子供の吹き出しは、文部科学省特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議アンケートを参考に編集。

※2 文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果（令和4年）」

※3 文部科学省「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」

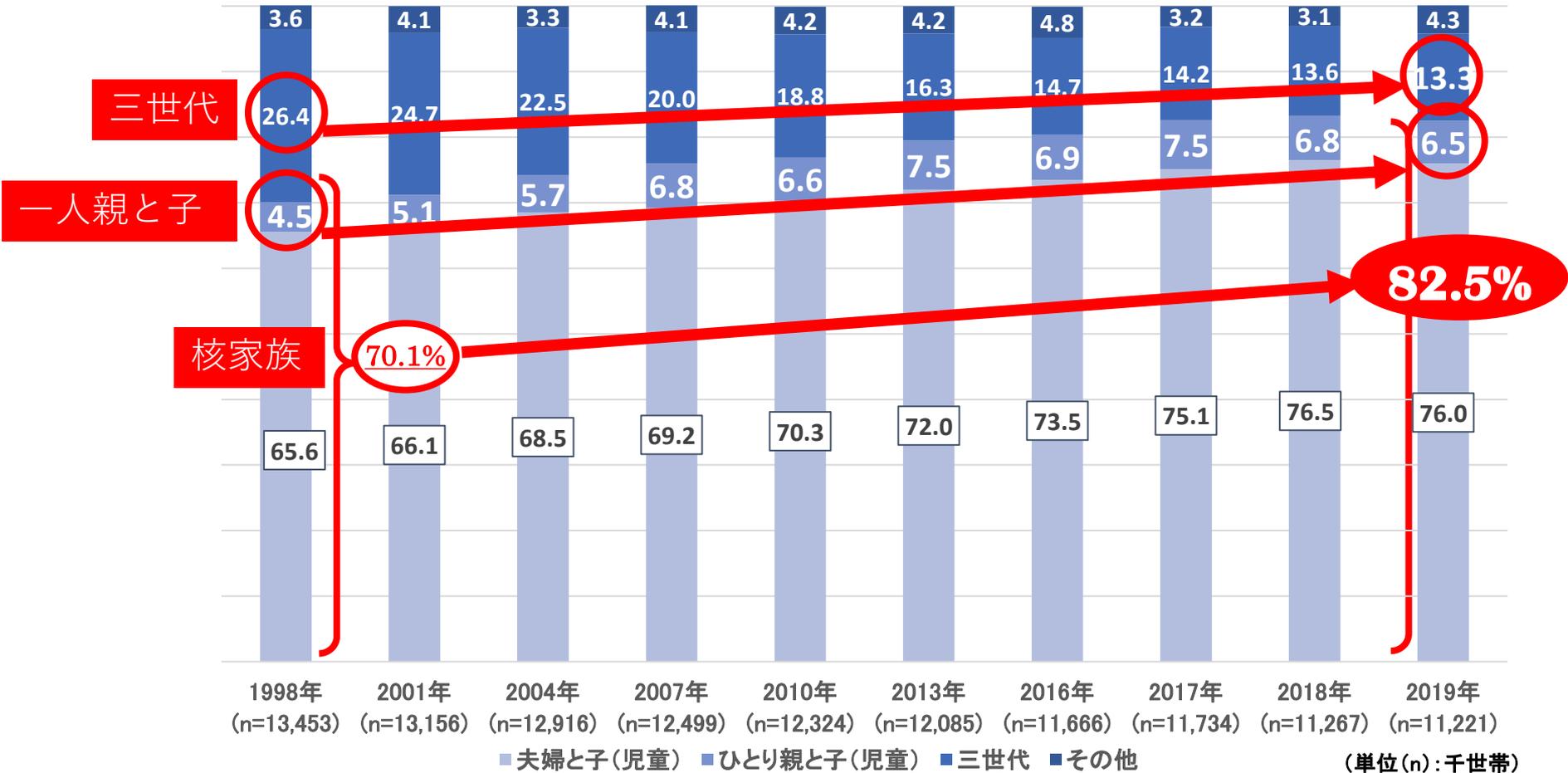
※4 日本財団「不登校傾向にある子どもの実態調査（2018年12月）」

※5 文部科学省・国立教育政策研究所「令和6年度全国学力・学習状況調査」

※6 文部科学省・国立教育政策研究所「令和3年度全国学力・学習状況調査」

- この20年で、3世代同居の割合は**半減**
- 核家族は**12**ポイント、ひとり親世帯は**40**ポイント増加
- この中で「他者と協働」⇒学校の相対的役割が大きく

(%)



検討においてどのような前提があるか

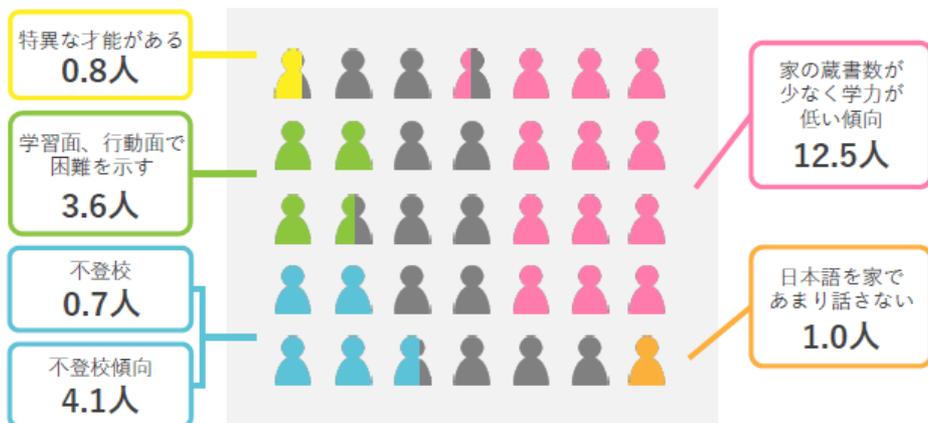
子供一人ひとりに目を向けた時に見えてきた課題

多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の必要性

「正解主義」や「同調圧力」への偏りから脱却するとともに、民主的かつ公正な社会の基盤として学校を機能させ、分断や格差の拡大を防ぎ、共生社会を実現する観点からも重要

-小学校35人学級における子供の多様性*-

*各種調査に基づく出現率から算出



学習指導要領の理念や趣旨の浸透が道半ば

子供の社会参画の意識



深い理解を伴う知識の習得



知識と現実の事象を関連付けて理解



自律的に学ぶ自信



将来の夢を持つ子供の割合



「自分の考え」を書くこと



デジタルを活用した効果的な学びについて

「デジタルか紙か」といった二項対立



効果的な活用はまだこれから



デジタル競争力は国際比較でも低位



バランス感覚を持って、積極的に活用する



一人一人の良さを伸ばし、困難の克服を助ける



デジタルの力でリアルな学びを支える



どのような論点について検討するのか

1 質の高い授業づくりに直結する 分かりやすい学習指導要領にするには



各教科等の中核的な概念等が
分かりやすい構造化の方策

表形式やデジタル
を活用した示し方

重要な理念の関係
性の整理のし方

デジタル学習基盤を前提とした
資質・能力の示し方

学習評価の在り方

2 多様な子供たちを包摂する、教育課程の柔軟な対応とは



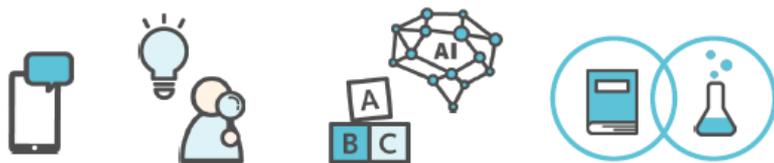
子供による学びの自己調整
と教師の指導性の在り方

教師に「余白」を生み、教育の質の可能性の向
上に資する可能性も含めた、子供たちが輝く柔
軟な教育課程編成の促進の在り方

全日制・定時制・通信制を
含めた高等学校の諸制度の
改善の在り方

不登校児童生徒や特定分野に特異な才能のある
児童生徒を包摂する教育課程上の特例の在り方

3 教科等において改訂すべき点は何か



情報活用能力育成の
抜本的充実を図る方策

質の高い探究的な
学びの在り方

文理横断・文理融合の
観点からの改善の在り方

生成AIの活用を含む今後の
外国語教育の在り方

教育基本法、学校教育法等に加え、こども
基本法の趣旨も踏まえた主体的に社会
参画するための教育の改善の在り方

高等学校教育の
改善の在り方

質の高い特別支援教
育の在り方

幼児教育と小学校教
育との円滑な接続の
改善の在り方

4 過度な負担を生じさせずに趣旨を実現するには



学習指導要領や解説、教科書、入学者選抜、教師用指導書も含めた授業作りの
実態等を全体として捉えた上での、教育課程の実施に伴う過度な負担や負担感
が生じにくい方策

教科書の内容や分量、
デジタル教科書の在り方

教育委員会への支援強化、指導主事
等の資質・能力の向上の在り方

現在以上に増加させないことを前提
とした年間の標準総授業時数の在り方

情報技術など変化の激しい分野で
最新の教育内容を扱うことを可能
とするための方策

- 1 学習指導要領改訂に関する国の動向 等について
- 2 体育で育成を目指す資質・能力**
- 3 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」
- 4 深い学びにつなげる授業づくり
- 5 「学びに向かう力、人間性等」の指導と評価

改めて考えてみてください

Q 体育、保健体育の学習を通して
何を育てるのか？



学校教育において必要とされる教科であるために、我々がこのことを日頃からしっかり考えて、授業を実践することが重要です。

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

どのように学ぶか

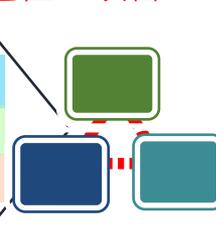
新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



育成を目指す資質・能力の三つの柱

学校教育法第30条第2項が定めるいわゆる学力の三要素（「基礎的な知識及び技能」「これらを活用して課題を解決するために思考力、判断力、表現力その他の能力」「主体的に学習に取り組む態度」）を議論の出発点としながら、学習する子供の視点に立ち、**育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。**

学びに向かう力，人間性等

どのように社会・世界と関わり，
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力，判断力，表現力等

【参考】学校教育法第30条第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、**特**に意を用いなければならない。

保健体育の学習を通して、育成を目指す

(1)「知識及び技能」とは？

(2)「思考力、判断力、表現力等」とは？

(3)「学びに向かう力、人間性等」とは？



学習指導要領の「目標」「内容」を正しく理解して授業を実践し、生徒の資質・能力を確実に育成することが重要

例：中学校保健体育科

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

資質・能力の三つの柱を関連させて育成する

学びに向かう力、
人間性等

資質・能力の三つの柱に係る学習を「粘り強く」「学習を調整」することを通して愛好的態度が涵養される

具体的な知識と汎用的な知識との往還を図りながら、運動実践につながる態度の育成を目指すことで「学びに向かう力、人間性等」が育まれる

知識及び技能

思考力、判断力、
表現力等

技能を育成する過程に、課題解決に向けて思考したり判断したりする活動を設定する

- 1 学習指導要領改訂に関する国の動向 等について
- 2 体育で育成を目指す資質・能力
- 3 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」
- 4 深い学びにつなげる授業づくり
- 5 「学びに向かう力、人間性等」の指導と評価

主体的な学び



主体的な学び

① 子供たちの実態を踏まえた適切な課題設定

難しすぎて、僕には無理だ…



そんな簡単なこと、やる気が出ないよ

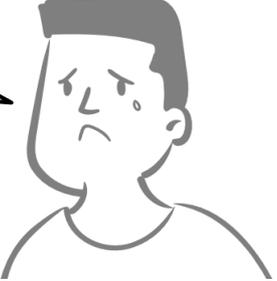


みんなで頑張ればできるかも！



主体的な学び

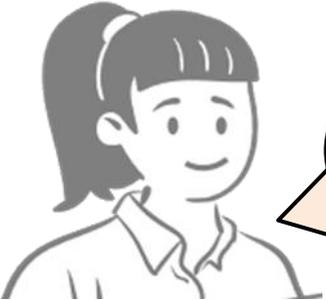
②学習の見通し(解決に向けたプロセスとゴールイメージ)



どうやって取り組んだら
いいかわからない…



そうやって学習を進めて
いけばいいのか。



サッカーの授業で身に付けなければいけ
ない内容がよくわかった。そのためには、
3回目の授業までには狙った場所にパス
が出せるようになりたいな。

主体的な学び

③振り返り(自己変容の自覚、学習内容の確認や一般化)



前回の授業より開脚前転ができるようになった。
もう少しで起き上がれそうだ！



今日は走り幅跳びのリズミカルな助走を学習したけど、5年生で学習した走り高跳びの助走も共通している部分があるな。

対話的な学び

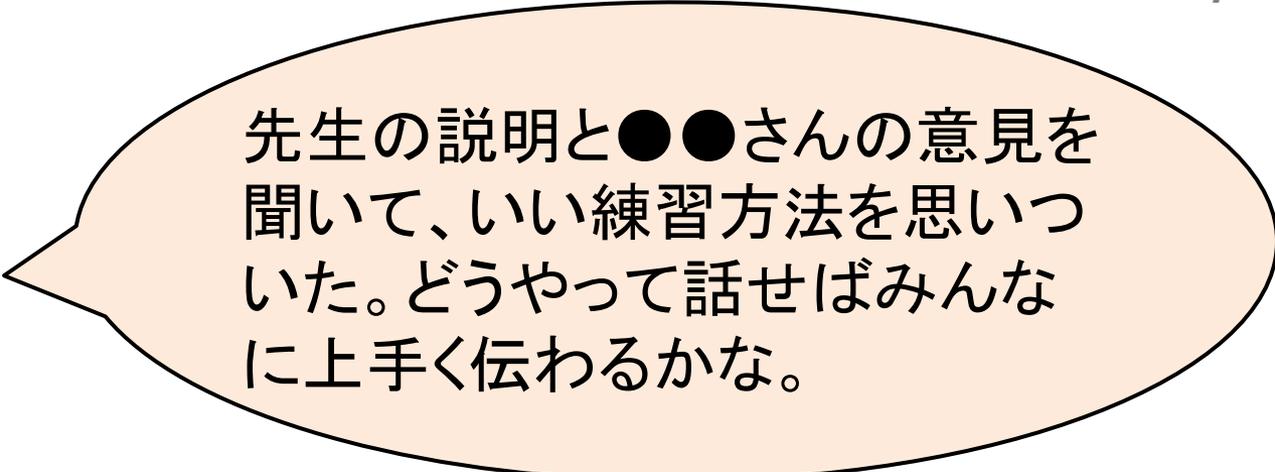


対話的な学び

他者に説明するために考えを構造化する学習場面を設定



〇〇君がパス練習をする
と聞いて言ってたよ。



先生の説明と●●さんの意見を
聞いて、いい練習方法を思いつ
いた。どうやって話せばみんな
に上手く伝わるかな。



深い学び



深い学び

身に付けた知識や技能を活用する学習場面を設定



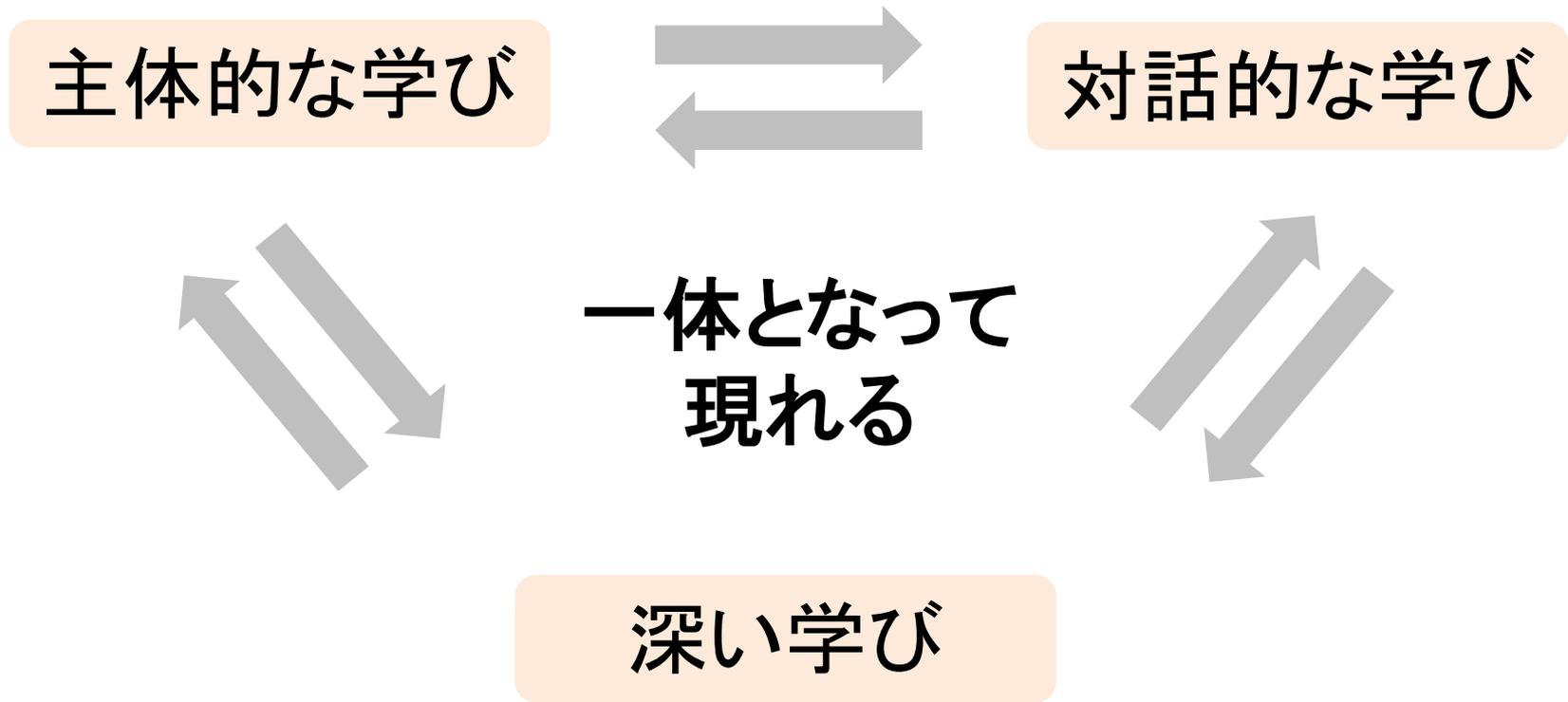
なるほど！それなら、こんなやり方もできるかもしれないね。



空いているスペースに走ったら、たくさんパスをもらうことができた。先生が言っていたことがわかった。



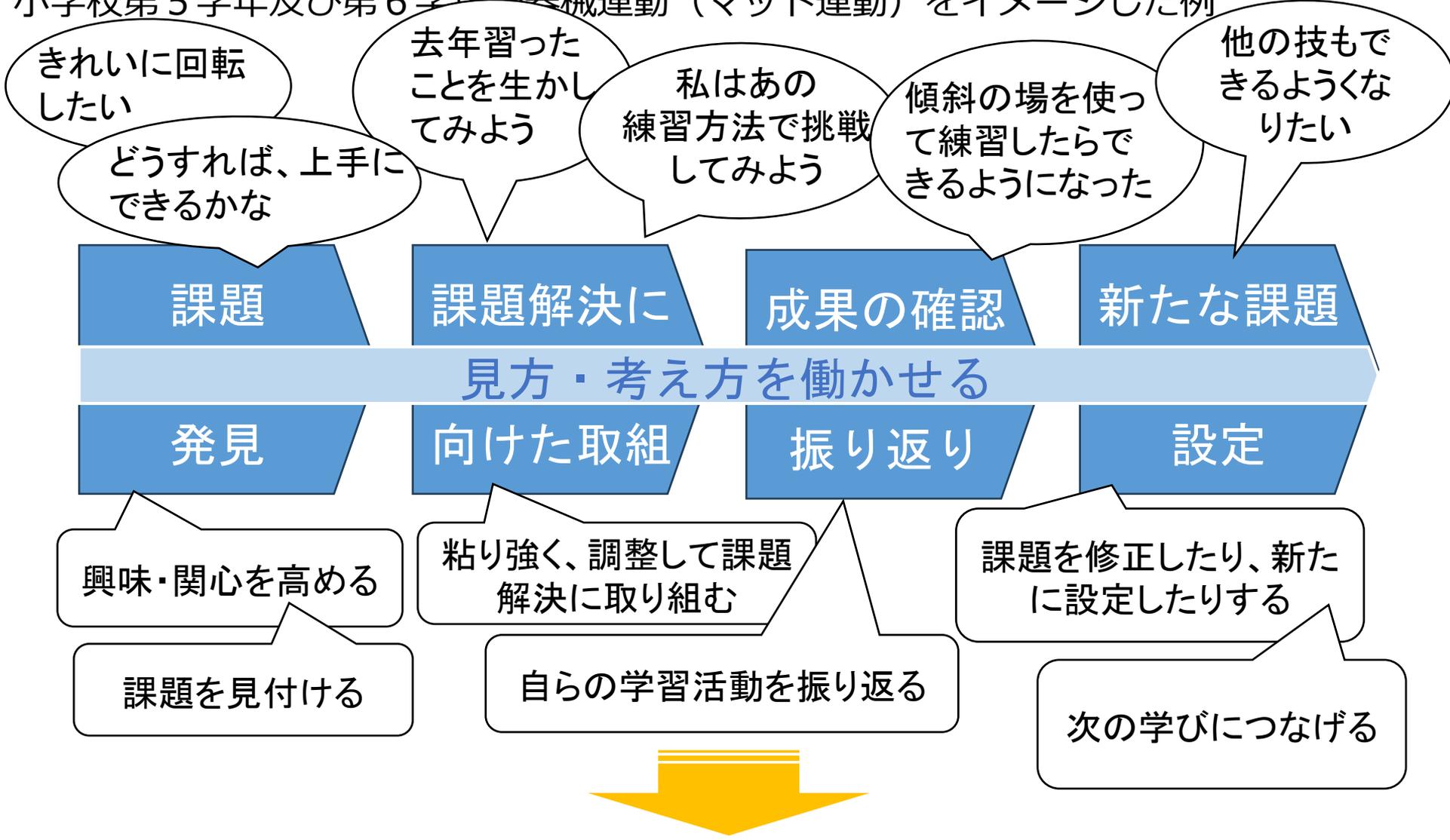
ルールを守ることで、みんなが楽しくプレイできることがわかった。普段の生活でもルールを守ろう。



- 1 学習指導要領改訂に関する国の動向 等について
- 2 体育で育成を目指す資質・能力
- 3 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」
- 4 深い学びにつなげる授業づくり**
- 5 「学びに向かう力、人間性等」の指導と評価

課題を発見し、その解決に向けた学習過程の例

小学校第5学年及び第6学年の器械運動（マット運動）をイメージした例



資質・能力の三つの柱のバランスのとれた育成

知識を基盤とした学習の充実

動きの獲得を通して一層知識の大切さを実感できるようにすることや**知識を活用し課題を発見・解決する**などの「思考力，判断力，表現力等」を育む学習につながるよう，汎用性のある知識を精選した上で，**知識を基盤とした学習の充実を図ることが大切**である。

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため・・・

中学校学習指導要領 保健体育〔体育分野〕〔第3学年〕目標(1)

それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて、運動を楽しんだり、その運動の特性や魅力に触れたりすることが大切であることを示したものである。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説保健体育編

E 球技

[第1学年及び第2学年]

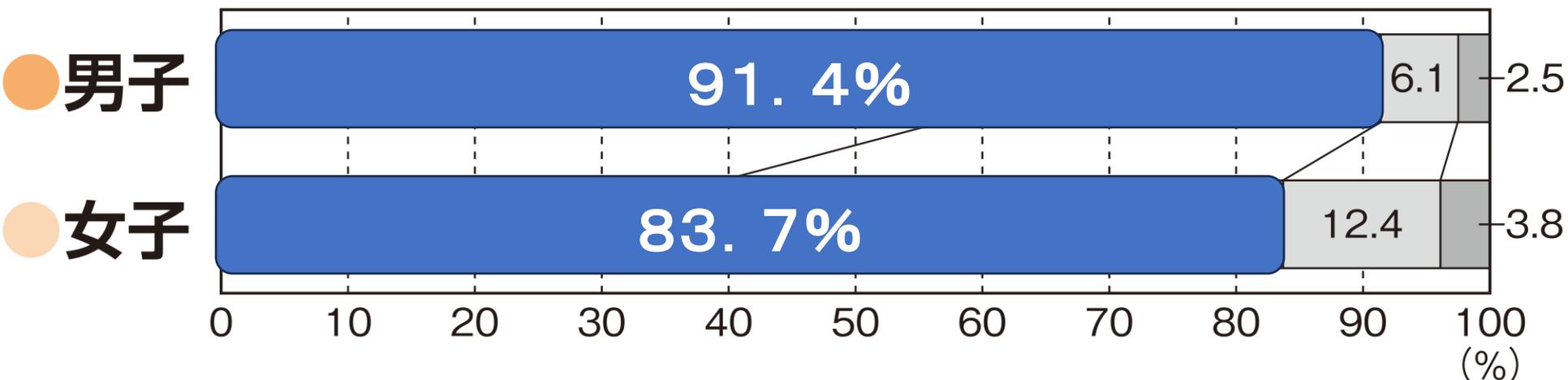
球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

小学校では、「ゲーム」と「ボール運動」で簡易化されたゲームでルールを工夫したり、チーム対チームの作戦を立てたりして攻防を展開できるようにする

教師が各領域の機能的な特性を理解した上で、生徒が各領域の運動の楽しさや喜びを味わうことのできる授業について試行錯誤することが、「運動は楽しい」そして「体育の授業は楽しい」という子供を育てることにつながる。

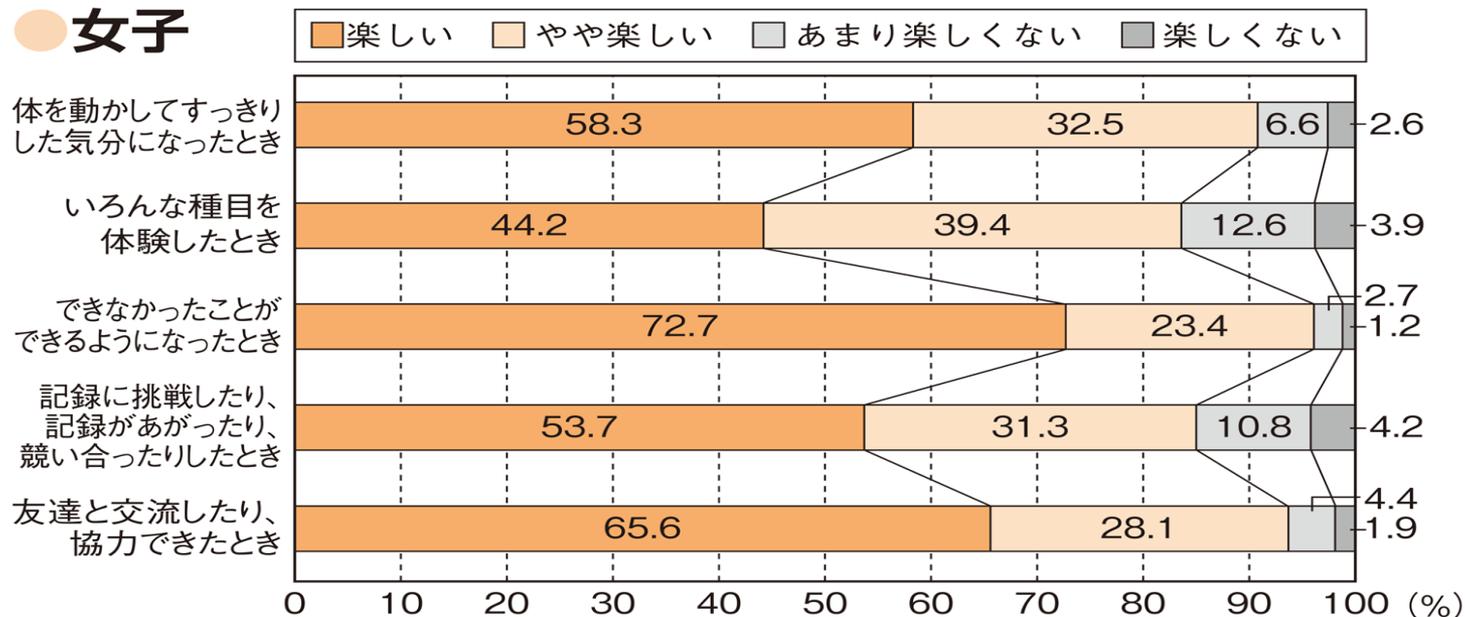
保健体育の授業は楽しいですか。

中学校2年生

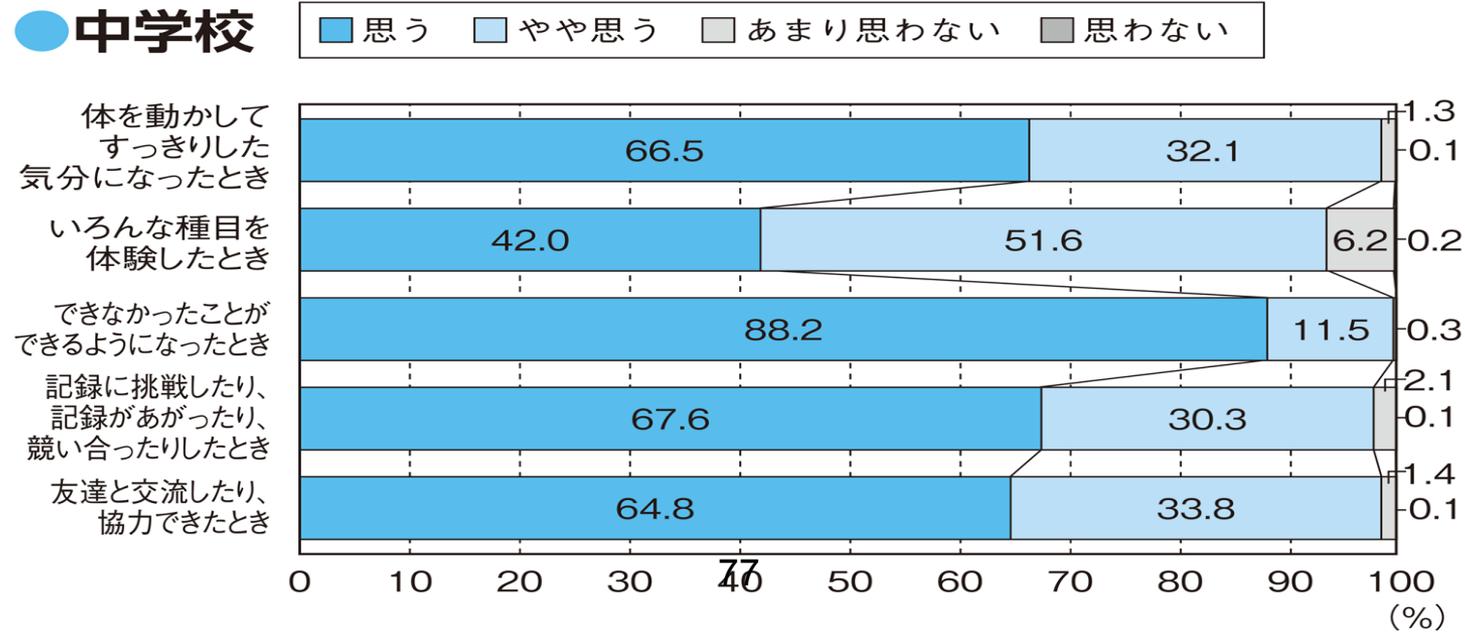


深い学びにつなげる授業づくり

● 女子



● 中学校



■単元の指導計画(10時間)

1時間

「オリエンテーション」

- ・授業の進め方、留意点、長距離走の走り方

2～3時間

「ストライドとピッチの違い」

- ・自己に適したペースの理解
- ・ストライドとピッチの切り替えを確認

4時間

「長距離走ラップ計算サイト」

- ・ペアで目標設定タイムの相違を確認

5時間

「記録にチャレンジ」

- ・チャレンジする記録を選択
- ・走る区間を決めて完走を目指す

6～7時間

「設定コースの完走」

- ・4つのコースの中から選択して完走を目指す

8～9時間

「クラス対抗戦」

10時間

「自由ランニング」

- ・単元の振り返り、クラス対抗戦結果発表

【学習活動の場面】

4段階のレベルの設定タイムの中から各グループで挑戦する記録を選択する。選択したレベルで、「グループで200mトラックを20周、走順や走る距離は自由に決める」というルールに基づき、走順と個人の走る距離を話し合って考える。教師からの「走る距離は個人の体力や技能を考慮すること」という指示を踏まえ、グループ内で自分の考えを提案する。

自分の考えやグループとしての考えをスプレッドシートに入力して共有し、他者の考えと比較しながらより良い方法を選択する。



■指導上の工夫とICTの利活用

ランニングフォームを動画撮影し、見本と比較して理解を深める。

自己に適したピッチとストライドで走るために、自分のフォームを動画で確認する。映像をもとにグループで仲間の課題を伝え合うことで、自己の課題発見につながった。

クラウド上にある他のグループの考えを参照する。

グループ内で話し合い、グループとしての考え方をまとめる。その後、クラウド上の他のグループの中から参考になる考え方を確認することで、幅広い視点から解決方法を考えることができた。

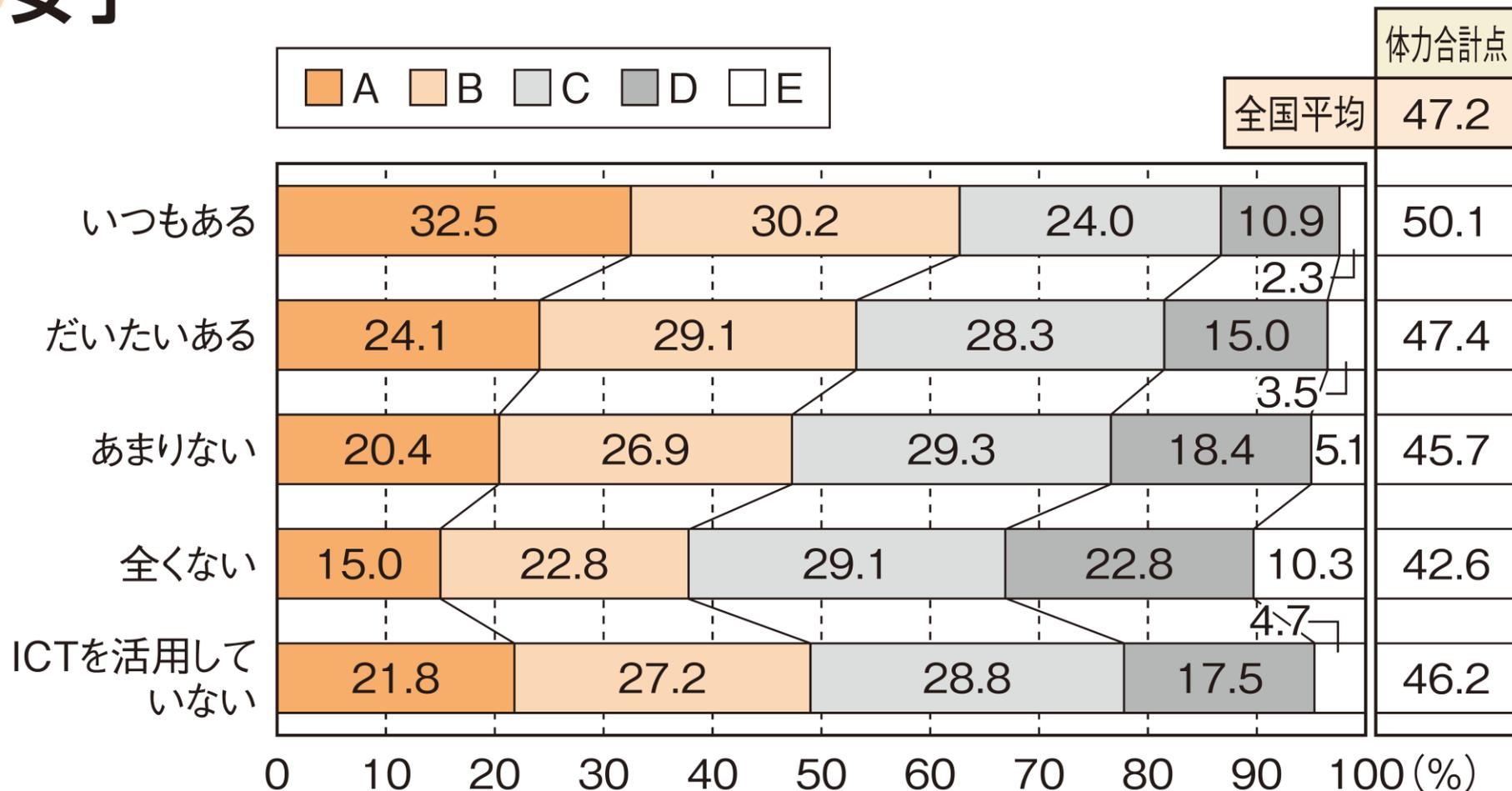
【当該指導での「深い学び」】

クラウドを活用し、自分たちのグループで考えた課題解決方法を他のグループと比較することで、新たな課題を発見したり思考が深まったりすることにつながった。また、単元の前半で学習した長距離走に適した走り方に関する知識や技能を活用したり、既習の共生の態度である「一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする」ことを踏まえて提案したりすることで深い学びにつながった。

ICTの効果的な活用

「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったり』することがある」×「総合評価と体力合計点」

女子



「体育の学習を通して何を育てるのか」



I C T の活用が

- ・ **深い学び**につながっているか
- ・ **資質・能力の育成**に効果的か

という視点で考えることが重要

I C T は「目的」ではなく「手段」

- 1 学習指導要領改訂に関する国の動向 等について
- 2 体育で育成を目指す資質・能力
- 3 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」
- 4 深い学びにつなげる授業づくり
- 5 「学びに向かう力、人間性等」の指導と評価

運動やスポーツとの多様な関わり方を重視した 内容及び内容の取扱いの充実

豊かなスポーツライフの実現を重視し、
スポーツとの多様な関わり方を楽しむこと
ができるようにする観点から、体力や技能
の程度、性別や障害の有無等にかかわら
ず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を
共有することができるよう、共生の視点を
踏まえて指導内容を示すこととした。

体力や技能の程度及び性別の違い等
にかかわらず、仲間とともに学ぶ体験は、
生涯にわたる豊かなスポーツライフの実
現に向けた重要な学習の機会であること
から、**原則として男女共習**で学習を行う
ことが求められる。

男女共習ができないと考える理由（例）

- ・ 男子が物足りないと感じる
- ・ 体力や技能に差があって指導が難しい



性別による違いではなく、個による違い

- ・ 技能の評価が難しい



学習評価に対する正しい理解

男女共習ができないと考える理由（例）

- ・ 男子が遠慮する、女子が委縮する
- ・ 異性に対する意識



意義の理解、雰囲気づくり

- ・ 接触のある活動ができない



グループ編成の配慮、接触のない活動で共習

共生の視点（障害の有無にかかわらず）

令和4年	小学校・中学校	高等学校
学習面又は行動面で著しい困難を示す	8.8%	2.2%
学習面で著しい困難を示す	6.5%	1.3%
「聞く」又は「話す」に著しい困難を示す	2.5%	0.5%
「読む」又は「書く」に著しい困難を示す	3.5%	0.6%
「計算する」又は「推論する」に著しい困難を示す	3.4%	0.6%
行動面で著しい困難を示す	4.7%	1.4%
「不注意」又は「多動性－衝動性」の問題を著しく示す	4.0%	1.0%
「不注意」の問題を著しく示す	3.6%	0.9%
「多動性－衝動性」の問題を著しく示す	1.6%	0.2%
「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す	1.7%	0.5%
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	2.3%	0.5%

障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。

中学校学習指導要領 第2章 第7節 保健体育
第3 指導計画の作成と内容の取扱い



通常の学級においても、発達障害を含む障害のある生徒が在籍している可能性があることを前提に、全ての教科等において、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援ができるよう、障害種別の指導の工夫のみならず、各教科等の学びの過程において考えられる困難さに対する指導の工夫の意図、手立てを明確にすることが重要である。

共生の視点（障害の有無にかかわらず）

◎ リズムやタイミングに合わせて動くことや複雑な動きをすること、ボールや用具の操作等が難しい場合



◎ 動きを理解したり、自ら積極的に動いたりすることができるよう、動きを視覚的又は言語情報に変更したり簡素化したりして提示する、動かす体の部位を意識させる、操作が易しい用具の使用や用具の大きさを工夫したりするなどの配慮をする。

◇ 試合や記録測定、発表などの状況の変化への対応が求められる学習活動への参加が難しい場合



◇ 生徒の実情に応じて状況の変化に対応できるようにするために、挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮したり、ルールの弾力化や場面設定の簡略化を図ったりするなどの配慮をする。

障害の有無等にかかわらず、仲間とともに学ぶ体験は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現とともに、スポーツを通じた**共生社会の実現**につながる重要な学習の機会であることから（中略）指導の充実を図ることが大切である。

生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に
関連付けて理解する

例えば社会に出た後のスポーツ活動を考えると・・・

競技として
極めたい

職場の仲間と親睦を
深めるためにやりたい

健康づくり

地域の人や家族
と楽しみたい



体力、技能、性別、障害の有無・・・

様々な違いを超えて運動やスポーツ
の楽しみ方を共有するためには？

体育では、「学びに向かう力、人間性等（公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全）を涵養したり」が入る

- ① 知識及び技術の獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、
- ② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、
という二つの側面を評価することが求められる。

主体的に学習に取り組む態度（愛好的態度）の評価

